

令和２年度 下半期

中津川市病院事業会計 業務状況説明書

(令和２年１０月１日から令和３年３月３１日まで)

目 次

1. 令和２年度下半期業務状況説明書（中津川市民病院）	
下半期の状況	2 頁
下半期の概況	3 頁
2. 令和３年度予算の概況及び経営方針（中津川市民病院）	
事業経営方針	4 頁
予算及び業務量	7 頁

令和2年度下半期の状況（中津川市民病院）

令和2年度下半期の状況は、延べ入院患者数で44,207人（1日あたり242.9人）、病床利用率は67.5%でした。これを前年度下半期と比較すると、2.7ポイントの減となりました。延べ外来患者数は、86,793人（1日あたり717.3人）でした。これを前年度下半期と比較すると、1日あたりでは、55.7人の減となりました。

医業収支の状況は、医業収益が3,831,503千円（前年度比104.1%）、医業費用が4,660,837千円（前年度比107.5%）で、医業損失が829,334千円発生しました。また、医業外収益が887,929千円（前年度比1,747.2%）、医業外費用が361,032千円（前年度比121.2%）となり、この結果下半期の経常損失が、302,437千円発生しました。

なお、上半期の経常収支において、628,686千円の経常利益が生じていましたので、通算で326,249千円の経常利益となり、令和2年度においては、修学資金貸付金の免除分等22,800千円を特別損失に計上したことにより303,449千円の純利益が見込まれます。

令和2年度下半期の概況（中津川市民病院）

1患者利用状況

単位：人

区 分	下半期	月平均延数	一日平均数
入 院	44,207	7,367.8	242.9
外 来	86,793	14,465.5	717.3
合 計	131,000	21,833.3	960.2

2診療収入状況

単位：千円

単位：円

区 分	下半期収入	月平均収入	一人一日あたり 診療収入
入 院	2,593,807	432,301	58,674
外 来	1,060,650	176,775	12,220
合 計	3,654,457	609,076	*****

3経理の状況

収益的収支

単位：千円

区 分	金 額	区 分	金 額
病院事業収益	4,870,632	病院事業費用	5,195,869
医業収益	3,831,503	医業費用	4,660,837
医業外収益	887,929	医業外費用	361,032
特別利益	151,200	特別損失	174,000

資本的収支

単位：千円

区 分	金 額	区 分	金 額
資本的収入	210,515	資本的支出	379,784
出資金	1,598	建設改良費	154,600
企業債	140,900	企業債償還金	207,664
補助金	66,277	修学資金等貸付金	17,520
貸付金返済金	1,740		

令和 3 年度中津川市病院事業経営方針（中津川市民病院）

1. 地域医療における役割強化に努めます。

①看護部の強化

- ・看護部組織の確立
- ・中長期的観点からの人員の確保と教育と運用
- ・安全、感染対策を意識した部門の強化

②薬剤部の強化

- ・薬剤部組織の確立
- ・中長期的観点からの人員の確保と教育と運用
- ・安全、感染対策を意識した部門の強化

③医療技術部の強化

- ・中長期的観点からの人員の確保と教育と運用
- ・安全、感染対策を意識した部門の強化

④事業部の強化

- ・事業部組織の確立と効率的な組織運営
- ・中長期的観点からの人員の確保と教育
- ・安全、感染対策を意識した部門の強化

⑤地域医療連携の強化

- ・組織の確立と効率的な運営
- ・効率的なベッドコントロール
- ・中長期的観点からの人員の確保と教育
- ・入院前～退院後までの切れ目のない連携の構築

2. 患者の権利や満足度向上を進めます。

⑥患者満足度の向上

- ・患者満足度調査とその分析

⑦情報開示・発信

- ・市民への十分な周知
- ・職員確保につながる情報発信
- ・職員への情報発信

3. 知識や技術向上のための教育強化に努めます。

⑧職員教育・スキル向上

- ・加算やタスクシフティングにつながる人材育成
- ・人事評価

4. 協働意識の醸成やコミュニケーションを図ります。

⑨医療安全

- ・職員教育の徹底と個別研修の導入
- ・医療トラブルの対応と対策
- ・次世代担当者の育成

⑩感染対策

- ・職員教育の徹底と職員の感染対策意識の向上
- ・安全な医療を第一に、経済性も考慮した感染対策の徹底
- ・次世代担当者の育成

⑪働きがいのある環境の推進

- ・時間外、有給休暇、ハラスメント対策
- ・施設等の職員の環境改善
- ・職員満足度の向上

5. 健全経営を確立します。

⑫診療報酬改定に対応

- ・新診療報酬制度への対応
- ・加算等の確実な算定と新たな加算等の情報分析

⑬病床の有効利用

- ・急性期病棟病床利用率 85%
- ・地域包括ケア病棟病床利用率 95%
- ・院内転棟率 60%未満

⑭外来の効率的運用

- ・限られたスペースの有効利用
- ・収益一昨年度比 5%増

⑮健診収益

- ・一昨年度比 5%増
- ・季節変動を少なくし業務の均一化

⑯手術室の効率的使用

- ・使用変動を少なくし、午前手術を増やし時間外減少

⑰病院整備計画

- ・公立病院改革プランの策定
- ・競争力のある病院経営戦略
- ・新病院建設プランの検討
- ・短期(3 年以内)の病棟利用計画と国、県からの支援事業の獲得

⑱費用の適正化

- ・外部契約者との契約適正化
- ・統一した賃金基準
- ・経費一昨年度比 5%減

令和3年度予算及び業務量（中津川市民病院）

1患者利用予定

単位：人

区 分	年度間	月平均延数	一日平均数
入 院	95,265	7,938.8	261.0
外 来	193,842	16,153.5	801.0
合 計	289,107	24,092.3	1,062.0

2診療収入予定

単位：千円

単位：円

区 分	年度間収入	月平均収入	一人一日あたり 診療収入
入 院	5,377,709	448,142	56,450
外 来	2,384,256	198,688	12,300
合 計	7,761,965	646,830	*****

3経理の予定

収益的収支

単位：千円

区 分	金 額	区 分	金 額
病院事業収益	8,982,978	病院事業費用	8,982,978
医業収益	8,326,297	医業費用	8,798,480
医業外収益	656,681	医業外費用	155,298
		予備費	1,000
		特別損失	28,200

資本的収支

単位：千円

区 分	金 額	区 分	金 額
資本的收入	337,669	資本の支出	567,006
出資金	217,509	建設改良費	166,014
企業債	116,200	企業債償還金	362,612
補助金	1,200	修学資金等貸付金	38,380
貸付金返済金	2,760		